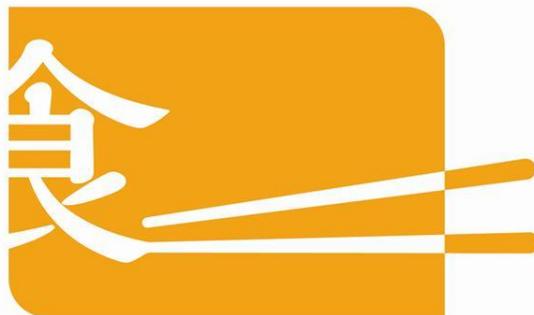


2026 年 4 月 1 日

パナソニック オートモーティブシステムズが 食育実践優良法人に認定

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社（代表取締役社長：永易正史、本社：神奈川県横浜市、以下、当社）が、農林水産省が実施する食育実践優良法人顕彰制度において、食育実践優良法人に認定されました。



2026 食育実践優良法人

<当社の取り組み>

1. 健康びとりレメッセージ(コミュニケーション活性化)

役員クラスから一般従業員までが、自身の健康づくりに関する取り組みや想いを社内ポータルサイトで発信する「健康びとりレメッセージ」を実施しています。

2023 年より役員クラスを中心に開始し、2025 年からは各拠点において一般従業員も参加する取り組みへと広がりました。2 年間で累計 1 万件を超える閲覧実績があり、健康意識の向上や食育の定着に寄与しています。

2. 生活習慣アンケート

従業員の肥満予防を目的として、定期健康診断の間診票では十分に把握できない食事・運動習慣に関するアンケートを、産業医および看護職と連携して作成し、年 2 回実施しています。

分析結果は社内ポータルサイトで共有し、従業員一人ひとりが生活習慣を振り返る機会を提供しています。

その結果、食生活に関しては「よく噛んでゆっくり食べる」「油ものを控える」などの項目において、年々改善傾向が見られています。

3. 食育セミナー

健康保険組合の管理栄養士による食育オンラインセミナーを定期的を開催しています。

出社・在宅勤務を問わず参加可能な形式とし、後日アーカイブ動画も視聴できる環境を整えることで、継続的な食のリテラシー向上を図っています。

事後アンケートでは各回で92%以上の回答者が「具体的に実施してみたいことがある」と回答しています。その中でも、実践的な工夫に関する声が多く寄せられており、健康意識の向上や行動変容につながる効果が継続的に確認されています。

これらの取り組みの結果、従業員意識調査においても、2025年度83%の従業員が「当社は従業員の健康増進のために必要な啓発や機会の提供、支援を行っている」と評価しています。

当社は、車載機器の開発・製造・販売を通じ、お客様一人ひとりのより良い暮らしの実現のため、持続可能なモビリティ社会の創造を目指しています。そのためには、当社グループで働く従業員が心身ともに健康で、生き活きと持てる力を存分に発揮し、相互に協力し合いながら、最高のチームとして仕事に向き合える職場環境を構築することが必要です。また、その実現が会社の持続的な成長にもつながります。

我々はこれからも、従業員およびその家族の心身の健康維持・増進に向けた組織的な健康づくりに取り組んでいきます。

■「食育実践優良法人顕彰制度」とは

食の外部化や簡便化志向、若者における野菜類・果実類の摂取減少など、大人の食生活の乱れが顕在化している中、これからの社会を担う若手をはじめとする「大人の食育」の推進が求められているところ、従業員に対し、健康的な食事の提供等、食生活改善に向けた取組とその評価を行っている企業を顕彰する制度です。

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/hyoji/260401.html>

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社について

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社は、日本を本社とし、海外8カ国に傘下子会社を有するグローバル企業です。Tier 1として、国内外の自動車メーカーに、インフォテインメントシステムをはじめとする当社ならではの先進技術を提供し、快適で安心・安全なクルマづくりに貢献しています。企業ビジョンに、世界一の「移ごこちデザイン」カンパニーを掲げ、人に寄り添う技術で世界のお客様のご期待にお応えします。

なお当社は、2027年4月1日より社名を「モビテラ株式会社」に変更いたします。

<https://automotive.panasonic.com/>

【報道関係者様 お問い合わせ先】

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社 経営企画センター コーポレートコミュニケーション室

e-mail: press-pas@ml.jp.panasonic.com Tel : 045-939-6103